



● 草の根パートナー型

2017年度第2回 採択内定案件

I 提案事業の概要	
1 対象国名	ケニア共和国
2 事業名	スマイルトイレプロジェクトー持続可能な衛生環境改善による笑顔あふれるまちづくりー
3 事業の背景と必要性	不衛生な環境は、病気リスクの増加、貧困の増大、子どもの出席率の低下、女性の社会進出の阻害等を引き起こし、コミュニティの発展を妨げる。ケニア共和国の一人当たりのGDPは1,800ドルと低く、それに伴い貧困率も非常に高い。コミュニティ発展のために、トイレの普及が重要課題であるが、事業対象地域のホームバベイ県において、トイレ改善状況は非常に低く、人口の42%しか衛生的なトイレを持っていない。トイレの普及を推進していくためには、住民の衛生意識や衛生的かつ長期的に使用可能なトイレの建設技術の向上が課題となる。さらに、住民が自らで建設費を負担できるように所得の向上も促していく必要がある。持続性と将来的な波及性を有する衛生環境改善プロジェクトが求められている。
4 プロジェクト目標	人材・資金・運営システムが揃った持続可能な衛生環境改善システムが構築され、現地に継承される。
5 対象地域	ホームバベイ県カボンダ地区
6 受益者層（ターゲットグループ）	1) 直接受益者 ・ケニア共和国ホームバベイ県カボンダ地区の40村各4名 計160名 ・保健省職員 年6名 計24名 ・SAWA YUME KENYA（現地協力団体）スタッフ6名 2) 間接受益者 ケニア共和国ホームバベイ県カボンダ地区の住民 40村40,000人
7 生み出すべきアウトプット及び活動	アウトプット： 1 ホームバベイ県カボンダ地区の衛生状況が明確化される 2 ワークショップの実施により、住民の衛生意識の変革が促される 3 住民のトイレ建設技術及び知識が向上する 4 トイレ建設費が住民自身で負担できるようになる 5 現地運営管理体制が構築される 活動： 1 衛生状況の実態調査 2 衛生意識の変革を促すワークショップ 3 衛生的かつ長期的に使用可能なトイレの建設技術指導と実践 4 トイレ建設費の負担に向けた住民の所得向上 5 現地運営管理体制の構築
8 実施期間	2019年8月～2024年6月（4年10ヶ月）
9 事業費概算額	52,383千円
10 事業の実施体制	統括運営管理者：日本ハビタット協会（プロジェクト運営、国内広報等） 業務補佐：TAネットワーク（保健衛生アドバイザー） 現地協力団体：SAWA YUME KENYA（現地管理、活動補佐、経理、保健衛生・農業指導等） 相手国実施機関：Government of Homabay Ministry of Health Kabondo Sub County
II 応募団体の概要	
1 団体名	特定非営利活動法人日本ハビタット協会
2 活動内容	国連ハビタット（人間居住計画）と共に国内外の紛争、貧困、災害で悪化した居住環境を改善し、人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進